

月	住所	性	歳	質問および回答
12	笠松町	男	60	<p>【教員の人事異動について】</p> <p>新規採用教員は、小学校・中学校のいずれかで採用試験を受けても、6年間で2校種を経験することが常となっているようだが、それは、今も変わらないだろうか。そうだとすると、例えば、新任3年を終えた教員が一気に地元へは戻れず、その他の地域で3年ほど勤めてから地元へ戻るというケースが多いように思う。しかも小学校で3年終えた教員は必ず中学校勤務ということになると思う。ります。このような教員に関する課題を何とか解決できる方策はないだろうか。</p> <p>⇒新規採用教員については、お尋ねの通り、現在も2校目までに小中両校種を経験できるような配置を進めており、1校目、2校目共に3年間の勤務を原則としております。これにより、義務教育9年間の系統的な指導の見通しをもつと共に、子どもの発達の段階をトータルにとらえて教育活動を行うなど、教員としての資質向上を図りつつ、自分の適性をみきわめ、その後のキャリアアップにつなげることもねらいとしています。</p> <p>一方で、ご心配のように、家庭や地域とのつながりを深めるという観点からは、3年間の勤務というサイクルは短い場合もございますし、近年、新規採用者の平均年齢が高くなっているという傾向もあります。そこで、めまぐるしく変化する教育を取り巻く状況を見据えながら、人事異動の在り方について、柔軟に対応していく必要があると考え、「新規採用者の計画配置の在り方」については、検討を進めているところです。</p> <p>今後も、年齢や勤務歴、実績等を勘案して適材を適所に配置していくという人事異動の方針を核としながら、市町村教育委員会が主体的に地元出身の若手教員を育成するシステムを構築する等、新しい施策も進めていく予定です。</p> <p style="text-align: right;">【 教職員課 】</p>